

文化・経済フォーラム滋賀

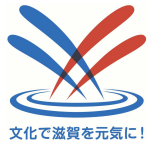
文化deけいざい 経済deぶんか ニュース&にゅーす 第12号 (2011年12月12日)

発行 滋賀県文化振興事業団内事務局 (大津市京町3丁目4-22 旧滋賀会館内)

TEL 077 (522) 8369 FAX 077 (522) 9647

eメール bunka-keizai@shiga-bunshin.or.jp

事務局 岸野 洋



文化deけいざい 経済deぶんか
ニュース&にゅーす 第14号

年が幕を

下ろそうとしています。日本漢字能力検

定協会が今日12日、応募をもとに発表した今年の漢字は、やはり「絆」でした。2位は

「災」で、3位は「震」でしたが、そんなのは、もう嫌です。今年はどうあっても、人と

人、心と心を結ぶ「絆」でなければなりません。11日に滋賀近美

で表彰式があった今年の第65回滋賀県美術展・平面の部芸術文化

祭賞は、守山市の主婦(47)が描いた油彩で、題は「さあ、今、

ここから」でした。鳥の恐竜化石の前に小学生が真っ直ぐ前を向い

ていました。まさに今年から来年へ、日本は「さあ今から」です。



メルマガ14号のリード部分はここまでにして、さて本題です。

ついに決まりました。文化・経済フォーラム創設のメイン事業であり

ます<文化で滋賀を元気に!賞>です。審査会が8日午後1時半

からびわ湖ホールであり、木村至宏代表幹事はじめ、石丸正運さん、中村順一さん、南千

勢子さん、饗場貴子さんの5人の審査員によって、大賞1点、各賞5点を選んで頂き、そ

のあと開いた幹事会で正式に決定しました。応募は88点で、自薦、他薦でしたので、同

じものは一つに括って82点について、審査して戴きました。膨大な選考資料を持ち帰っ

て頂き、採点してもらい、事務局で集計しましたが、大変な手間だったと思います。ボラ

ンティア審査、ただ感謝です。ありがとうございました。

それで、結果は…ですが、来年1月12日(木)にびわ湖ホールで開く部会長会議に先

立ち、午後3時から記者発表することになっています。会員の皆様、ことに広報部会の皆

様には他薦で大変お世話になっており、少し耳打ちしたいところですが、役所的な感覚で

はそうもいかないようです。それでもあまり水臭いのは、これからの活動にも響きます。

事務局長独断で、わかるようでわからないように以下に書きます。大賞は審査員一致で、

オペラなど多彩なイベントを展開された湖北の町おこし事業でした。これ以上は書きませ

ん。各賞5点は地域性、ジャンル性を考慮して、選んで頂きました。審査員5人の採点結果

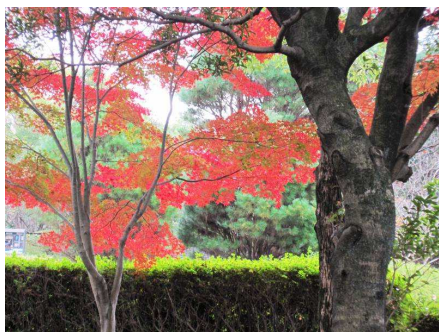
を単純に集計したところ、どうしたわけか、湖北に偏りすぎました。

それで審査前日にあったワーキンググループの意見なども聞き入れてもらっての地域別とジャンル別を考慮して、話し合ってもらいました。その5点、ぼやかして表現するのは、文章力が要るなあーと思いつつ書きます。湖北からもう1件です。地域の人々に百年以上、ともし火を続けてきた施設です。最近、よくニュースになっています。湖南からは、滋賀を面白おかしく全国的に売り出したメディア関係が1件あります。それに見ただけで一目瞭然の電車関係もそうです。桜の花が散ったころ、あっと思わす景色を演出する地域活動も5点の中に入りました。近江八幡市からは映像で歴史を検証したグループです。う〜ん、こう書くと、知る人ぞ知るで、わかってしまったかも知れません。ナゾがナゾ呼ぶような文章力、これは誠に難しいです。だいぶわかってしまって、どこに陳謝していいのか、兎も角すみません。



文化で元気に！賞の件は、ここまでにして、ここからは幹事会で決まったこと事務的に並べておきます。これが一番、手間をとりません。第2回総会は来年2月11日（土・祝）午後4時から琵琶湖ホテルで開催です。式典内容は①総会開催②文化で元気に！賞表彰③提言発表④大原美術館理事長・大原謙一郎氏の講演⑤交流会という流れです。大原氏の講演テーマは「文化の力が未来を拓く」と決まりました。昨年、岡山で国民文化祭を開催して、県内の文化団体を組織した大原さんです。どんな内容か、楽しみです。交流会のアトラクションは文化で滋賀を元気に賞の受賞者の皆さんの中から何かやってもらえないか、検討することになりました。

提言はどうまとめるか、企画部会長の井上建夫さん（びわ湖ホール理事長兼館長）が意欲的にミーティングを開催してもらっています。今日12日も午後6時から2時間、会員呼びかけで意見を聞く会があります。この原稿書いて、出席します。会員継続、新規会員募集などについても事務局提案があり、了承されました。近く案内が届くと思います。書きたいこと、お知らせしたいこと、まだ沢山ありますが、この辺で筆置いて、今年一番の紅葉写真を一枚掲載しました。瀬田のびわこ文化公園、茶室・夕照庵近くにあるイロハもみじです。県展の仕事で何度か行って、12月はじめに撮りました。日射しの当たる反対側からの一枚、誠に鮮やかでした。



（文責・岸野）

追伸 少し早いですが、どうぞ、良いお年をお迎え下さい。